

令和6年度町政運営基本方針並びに予算編成について

【町政運営基本方針】

はじめに、能登半島地震によって尊い命をなくされた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災地の復旧復興が一日でも早く進むよう、本町においても引き続き可能な限り支援を行ってまいります。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動制限が緩和され、4年ぶりに有観客で開催したたんたん祭りをはじめ、元気あっぷハーフマラソン大会の再開や地域のイベントが開催されるなど町がコロナ禍以前の賑わいを取り戻した年となりました。私も各種イベントや行事に参加する機会が多くなり、改めて人と人とのつながりの大切さを実感したところであります。

一方で、令和5年版高齢社会白書によると日本の令和4年10月1日における高齢化率は29%を超え、令和19年には33.3%となり、国民の3人に1人が65歳以上になると見込まれ、少子高齢化や人口減少はさらに進むものと予測されております。

さらにロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルにおける紛争など、世界情勢の不安定化、気候変動等に伴う災害の激甚化・頻発化、出口の見えないエネルギー価格や物価の高騰などにより、町民の皆さまは将来への不安を抱えられているものと察しております。

このような不安定な社会情勢において、町の財政基盤の先細りが予測される中、令和6年度は「地域経営計画2016」後期計画の「子ども・教育・生涯学習分野」、「健康・サポート分野」、「魅力・活力分野」、「環境・社会基盤分野」、「安全・安心分野」、「マネジメント分野」の目標達成のため、将来を見据えた変革と推進ある予算編成に取り組みました。

特に昭和38年に建築され60年以上経過した役場本庁舎や、教育施設などの公共施設については、修繕対応ではままならない老朽化が進んでおり、町民の皆さまの安全安心確保のための建替えや大規模改修が喫緊の課題となっております。

こうした状況を見据え、町長として就任した平成25年度から本年度まで11年をかけ、庁舎整備基金へ約20億円を積み立て、また、学校施設整備基金へも約10億円を積み立てるなど、計画的に施設整備や改修等を進められるよう準備をしてきたところであります。

今後は、令和10年秋の新庁舎開庁に向け基本設計に着手するとともに、老朽化した阿久津中学校の大規模改修に取り組んでまいります。

さらに、個別施設計画の策定の中で将来の人口構成の変動を予測し、公共施設の更新、集約・複合化や廃止の整理を進めることで、財政負担の軽減・平準化を目指してまいります。

また、令和5年度には、宇津救命丸株式会社の本町への本社移転や、マニー株式会社の花岡地区での新工場の建設など、企業の地方回帰が進むとともに、情報の森とちぎに日本ライナー株式会社の進出が決定するなど、コロナ禍以降、企業のサプライチェーンの見直しによる国内回帰・国内生産体制の強化を図る動きが見られております。

この好機を逃すことなく、企業の立地環境を整え、将来にわたっての自主財源の確保、雇用の創出による地域経済の活性化や、移住定住促進のため産業団地の新設に向けた事業を展開してまいります。

令和6年度は「希望の持てるまちを後世に引き継いでいく」ため、経営者としての手腕を十分に発揮し、剛毅果断に行政課題と向き合い将来を見据えた変革と推進を図ることで、町民の皆さまの生活を守り、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

【予算編成について】

続きまして、令和6年度予算の概要について、ご説明申し上げます。

まず、一般会計でございますが、予算規模は106億8千万円であり、前年度予算の102億1千万円と比較いたしますと、4億7千万円の増額、率にして4.6%の増となっております。

次に、各特別会計の予算額と前年度予算額との比較について説明いたします。

- ・国民健康保険特別会計は、24億4,364万3千円、保険給付費の減少により、0.3%の減となりました。

- ・後期高齢者医療特別会計は、3億7,818万円、後期高齢者医療広域連合納付金の増加により、19.7%の増となりました。

- ・介護保険特別会計は、23億3,637万5千円、地域支援事業費の一般会計への一部移行により、1.7%の減となりました。

公営企業会計につきましては、収益的支出と資本的支出を合わせた予算規模になりますが、

- ・水道事業会計は、8億6,329万円、0.5%の増となりました。

- ・下水道事業会計は、13億9,262万5千円、3.2%の増となりました。

なお、下水道の整備率につきましては、令和5年度末では86.1%の見込みとなっており、令和6年度実施予定の整備面積を含めると88.4%となる見込みとなっております。

以上、6会計を合わせた令和6年度の予算総額は、180億9,411万3千円となり、前年度と比較しますと、5億1,210万9千円の増額、率にして2.9%増の予算編成となりました。

続きまして、地域経営計画の分野別事業を中心に説明させていただきます。

- ・一つ目の「子ども・教育・生涯学習分野」につきましては、

まず、母子手帳アプリを活用し、手続き等をオンライン化することにより、妊娠・子育て世帯の負担の軽減や利便性向上を図ります。

また、高根沢第二幼稚園の新築工事に対し費用の一部補助を行い、安心して子育てができる環境の充実を図ります。

次に、中学生の英語学習への意欲、関心を高め、英語力向上の一助とするため英語検定受験料の助成を行います。

また、熱中症対策のため中学校の屋内運動場に冷風機を導入します。

次に、国際感覚を持つ心豊かな子どもの育成を図るため、中学生海外派遣事業を再開します。

- ・二つ目の「健康・サポート分野」につきましては、

まず、後期高齢者の健康維持を図るため、糖尿病性腎症等で重症化するリスクの高い方へ専門職による保健指導を行います。

次に、帯状疱疹の発症や重症化を予防するため、50歳以上の方を対象に予防接種費用の一部助成を行います。

また、青年期の健康保持増進のため、20代の健診費用の一部助成を行います。

• 三つ目の「魅力・活力分野」につきましては、

まず、園芸作物の生産振興及び経営戦略を持った農業者の育成を図るため、園芸用パイプハウスの更新等を行う農家・農業者団体に対し、資材費の一部補助を開始します。

また、多面的機能支払交付金制度を活用し、農地などの地域資源の適切な保全活動を推進していくため、広域活動組織を立ち上げます。

次に、町を知り訪れるきっかけをつくるため、地域資源を活用した新たなイベントを開催します。

また、雇用の創出や地域経済の活性化を図るため、新たな産業団地の整備に向けた基本計画等を策定します。

• 四つ目の「環境・社会基盤分野」につきましては、

まず、脱炭素社会実現のため公共施設等の省エネ診断を実施し、ゼロカーボン事業を推進します。

次に、町道380号線の舗装修繕を行うため設計業務を行います。

また、市街地の雨水対策のため令和5年度に策定した雨水排水計画に基づき、大雨による浸水被害が大きい箇所の雨水排水対策に係る設計業務を行います。

さらに、都市計画マスタープランを見直します。

• 五つ目の「安全安心分野」につきましては、

まず、防災士資格取得を推進するため、本町を会場とし、防災士養成研修講座を開催します。

また、消防団活動を円滑に行うため、老朽化したポンプ自動車の更新を行うとともに、詰所や可搬車庫などの施設の耐震性等の調査を行います。

• 六つ目の「マネジメント分野」につきましては、

町が所有する公共建築物の計画的かつ効率的な整備を行うため、個別施設計画を策定します。

また、新庁舎整備のため設計業務を行うとともに、新庁舎整備を契機として利用者の利便性向上や業務効率化を検討するため、業務量等把握調査を実施します。

令和6年度予算についての概要説明は、以上のとおりでございます。

【結び】

令和6年度は引き続き「くらし 高まる たかねざわ」をキャッチフレーズに町政運営を行うとともに、不安定な社会情勢の中でも揺らがない財政基盤の確保に向け、機を逃さず、歩みを加速してまいりますので、議員各位並びに町民の皆さまには、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、私の所信といたします。